

令和2年(2020年)9月21日(月曜日)



地域活性化に向けてオンラインで思いを語ったシンポジウム  
＝三島市

## 地域創生へシンポ

三島で  
県職員ら オンラインで配信

土木学会が主催する  
地方創生シンポジウム  
「潤い(環境)のある  
まちから潤う(活力)  
まちへ」が17日、オン  
ラインを活用して全国  
で開催された。三島市  
のNPO関係者や企業  
経営者、県職員が講演

とパネル討論を通じ、  
地域活性化に向けた思  
いを語った。  
NPO法人グラウン  
ドワーク三島の渡辺豊  
博専務理事は、源兵衛  
川を軸に松毛川、境川  
など清流を生かした三  
島の街づくりについて

語った。地域に眠る資  
源や魅力を高める手法  
として、市民が考えて  
価値を見いだし、その  
後の管理も市民自らが  
行うことで「愛着心が  
芽生え、ボトムアップ  
で街中が元気になる」  
と述べた。

加和太建設(同市)  
の河田亮一社長は県東  
部を活性化させる鍵と  
して「地域を好きにな  
る人をいかに増やす  
か」とし、住民が地域  
に関わる機会を創出す  
る同社の取り組みを紹  
介した。地元のために  
働くことで事業領域も  
広がり、企業収益と社  
員の意欲を向上させる  
好循環につながってい  
るという。

県農地保全課の土屋  
和大課長代理は高齢化  
が進む農山村を企業が  
サポートする「一社一  
村しずおか運動」など  
に触れ、環境、社会、  
経済の持続的な発展の  
重要性を強調した。